

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 中学生海外派遣事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	3	国際性豊かな人材育成
事務事業番号	001	事務事業コード 62213001 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 2 3 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中学生海外派遣事業費
------	------	------------	------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>次代を担っていく青少年に、諸外国の生活習慣や異なる文化に触れることを経験させ、国際理解を深め、国際的な視野に立って行動できる人材を育成することを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>市内中学校（中等教育校含む）に在学する中学生を友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生 6 名（各学校から 1 名）、引率者 2 名を 6 泊 7 日の日程で派遣。 ・訪問前には、英会話や訪問国の文化や歴史などの事前研修を 1 0 回開催。 ・現地の家庭にホームステイし、デンマークの生活や文化を体験。 ・学校訪問、授業体験、生徒との交流のほか、市民と交流。 ・デンマークの歴史的な施設や文化財を見学。 ・帰国後は、報告書作成などの事後研修を 3 回開催。 ・在学する中学校などにおいて体験報告会を開催。報告書は、ホームページで公開。
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>派遣された中学生においては、異国の文化や生活習慣に触れることにより、世界に視野を向ける良い経験となっており、国際性豊かな人材として成長しているものと認識している。また、本事業を通じて両市の絆が深まり、友好都市として、双方の市民が交流している。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>登別市中学生海外派遣事業実施要領</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	派遣生徒数	人	目標値	113	119	125	131	137
			実績値	113				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	1,994	2,420	2,280	2,280	2,280	6,840
	一般財源 名称	千円	36	40	40	40	40	120
合 計			2,030	2,460	2,320	2,320	2,320	6,960
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,294	1,329			
		嘱 託 員	千円	439	473			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,733	1,802			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業の実施により、国際性豊かな人材の育成が図られることから、市が主体として実施していくことは妥当であると考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 派遣生徒は異文化に触れることで日本との相違を実感し、日本を見直す良い機会となっている。 また、帰国後の体験報告を通じ周囲の生徒達も外国に関心を持つという波及効果もある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 派遣される生徒数は限られているが、本事業を継続して実施することにより、国際性豊かな人材を育成し、輩出することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業の実施に必要な最低限である経費を予算計上しているため、現時点での事業費削減は難しい。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	将来を担う生徒たちが異国の文化や生活習慣に触れることにより視野を広げるとともに、国際理解を深める人材を育成する観点から本事業を実施してきた。 平成24年度以降は、保護者負担割合を見直すとともに、派遣者数の増や、派遣者を公募するなど、新たな手法により、登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業として、派遣事業を展開していく。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）